資料３

「中野市公共施設最適化計画（案）」に対する
意見の概要とそれに対する市の考え方

意見内容	市の考え方
○　人口減少の中で公共施設効率よく運営されるべきと考えます。しかし、そもそも公共施設はそこに住む住民の負託のもと作られたものであり、地域では、拠点として期待されています。無くなることについては、地域住民の痛手となります。ホームページなど広報されていますが、縮減対象施設の関係者や利用者、担当区など直接的にお知らせし意見の聴取をすべきだと考えます。どうしても施設は、中心地に偏重してしまい、全市的なバランスを見た観点や地域の拠点という観点で最適化計画とすべきです。意見集約や説明も、「庁舎の設置問題」や「小学校及び中学校適正規模等方針案」のように矢継ぎ早で、理解を得られないうちに決定されないように十分議論を尽くしていただきたい。	●施設の複合化、廃止、縮小、移転にあたっては、関係者等のご意見を十分にお聴きすることとしています。
○　延べ床面積ベースで２０％縮減を目指す中で、小学校及び中学校適正規模等方針案で、もし利用されなくなった施設は、「基本的な考え方の中で地元の要望を踏まえて、全市的な行政施策との調整を図りながら検討する。」とあり、今まで地域の拠点であり耐震化にも対応できている施設であるため、避難施設、避難場所となりうる建物である。そんな地域の要望に応えた場合、譲渡というのは、維持管理上、またその後の解体の経費まで考えると、譲渡受けかねるケースも出てきて、「市有施設とする」場合、縮減率を減らせない。「解体とする場合」、避難施設、避難場所等地元の要望に沿えなくなるのではないか。その中での総量の5%の縮減目標は、特に周辺部の市民にしわ寄せとなるのではないか。	●本計画では、統合により利用されなくなった校舎等は、他の公共施設としての利活用を検討するとしています。

意見内容	市の考え方
○　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄの建物や、鉄骨造の建物など、古いものの長寿命化は、可能なのか。また、可能としたらどんな工法で、どれくらい寿命が延びるのか。工事費はどのくらいの割合でできるのか。(これから作るものであれば、長寿命、高耐久使用の施工をすればいいが、伸びる寿命と、工事の金額の効果を誤らないようにお願いしたい)	●長寿命化にあたっては、それぞれの施設に合った方法でコスト比較等を行います。
○　「イケイケどんどんの時代」に作られたものが老朽、維持管理に莫大な費用が掛かるようになってくる。まだ提示されてないが、道路、橋梁、上下水道なども、これ等のごとくである。これからの議論となる、市民会館も、他の自治体と、また広域で、作れればいいと考えたが、(周りの市町村で作ってしまったが)北信総合病院の「さくらホール」の設置にあわせてなぜもっと検討できなかったのかと思う。(多額の合併特例債が投じられたのに、金の無駄を感じる)	●公共施設の建設コストについては、将来の道路等のインフラ更新負担も考慮しながらランニングコストも含め、検討して参ります。
○　災害時の重要な拠点といわれて建設されている新市庁舎。先ごろ供用開始された防災広場。ただ、今年の雪で麻痺するようなところに建設して本当に最適化たったのかと疑問に思う。ともに「防災の」と、いわれるのであれば、有事の際には大型車などの通行も予測される中、道路幅も勘案されるのが、最適化だと思う。	●災害時に十分機能を発揮できるよう災害に強いまちづくりに努めます。
○　公共施設最適化の中には、古くも、小さくも、意味合いのある建物が存在します。中野市の未来の方向性の為にも、単純に効率化だけでなく、検討いただきたい。	●本計画に基づき将来に渡って必要な行政サービスを持続的に提供するように努めて参ります。

意見内容	市の考え方
○　最近電気自動車が走行しているのが目につく様になりました。私も昨年より導入しまして使用しているのですが、高速道路、道の駅、車の販売店等には充電スポットが多く設置されておりますが、市役所等には、長野県では塩尻市、茅野市、富士見町、大鹿村、小谷村、東御市中央公民館に設置されているようですが、中野市に於いても本庁舎が新築しておりますので合わせて急速充電器を設置して頂ければと思います。 　また、合わせて豊田支所にも設置お願い致します。 　今月信州中野観光センターに設置された様ですが、設置には国の補助金が出る様に聞いております。是非設置よろしくお願い致します。	●既に国の補助を受けＩＣ周辺（道の駅ふるさと豊田、信州中野観光センター）に市で２箇所整備しておりますが、維持管理費は市の負担となります。民間の設置も増えていることから（12 箇所）庁舎への設置は考えておりません。